

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成23年 学校教育だより

September **9** 第310号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)



「おいしいごはんが炊けました」 ～林間学校2日目～ 写真提供／ふじみ野小学校

「あつい！」

関沢小学校 三年

井田晴也

頭がいたくなつた

モアーツとしていた

「あつい。」

「あつい。」

出てくることばは

こればかり

空を見たら

太陽が

こっちへ近づいてくる

ようだった

取り組みやすさを大切に

本校の道徳の時間では、一昨年度から「月毎に重点項目」を設け、「学年内で統一した道徳資料」を使つての授業を進めています。これは、学校全体としてその時期に押さえておくべき道徳的価値を重点化し、資料を共有することによって担任による指導の偏りをなくし、生徒に同じ視点で物事を考えさせるためです。

まず、「全体で取り組むべき内容を明確にして指導していく。」次に「クラスの実情に応じて優先順位を決めていく。」そして、その中で「教師個々の工夫を生かしていく。」生徒全体の道徳性を高めるためには、このような横の連携を重視した取り組みが必要になります。

ここでは、「月毎の重点項目・資料」提示の具体例と、特に目新しい工夫はありませんが、道徳の授業をするにあたり日頃から心掛けている実践例を紹介いたします。

道徳の授業

指導者 西中学校 教諭 江原 俊之

【内容項目】～新科～

- 1 主として自分自身に関すること
 - ① 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り、毅然と心掛けた行動のある生活をすること
- 2 主として他の人とのかかわりに関すること
 - ① 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な行動をとる。
- 3 主として自然や無生物などのかかわりに関すること
 - ① 生命の尊厳を理解し、かづがえのない自然の生命を尊重する。
- 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること
 - ③ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

- 一年 日々の心構え
礼の精神
- 二年 望ましい生活習慣
時と場に応じた礼儀
- 三年 美しい生活習慣
礼儀の意義

例① 四月の重点

【内容項目】左表参照
 全学年共通 1—(1)・2—(1)

【主題名】

一年 日々の心構え

二年 望ましい生活習慣

三年 美しい生活習慣

礼儀の意義

【内容項目】左表参照

全学年共通 1—(1)・2—(1)

本郷中学校 1年

浦野 遥太

子どもの四季

僕たち1年生は日本科学未来館に校外学習に行きました。4人1組の班員それぞれが興味をもった展示について調査し、発表しあうというのが、この校外学習の目的です。僕は、EX2「技術革新と未来」というフロアの担当でした。未来の生活が楽しみになるようなすごい技術が詰まったものが展示してあり、驚きました。「積極的に質問し、わかりやすいプレゼンをしよう」というスローガンのもと、みんなよく活動していました。「ありがとうございました」「お願いします」など、礼儀もよかったです。そして、仲間の発表を聞いて得るものがたくさんありました。この経験をこれからの学校生活に生かし、学年で協力していきたいです。

【資料名】

一年 「出船の位置に」

二年 「半分おとな半分子ども」

三年 「小さなこと」

「試行錯誤はまたまた続く」

三年 「りんごの何を食べるのか」

「おはようございます」

四月は年度初めということもあり、どのクラスも学級の立ち上げに必要な「望ましい生活習慣」や「礼儀の意義」を重点化します。年間指導計画の中から道徳部会が検討して提案します。これ以外に指



例② 六月の重点

【主題名】

一年 いじめを許さぬ強さ

二年 かけがえのない命

三年 いじめを許さぬ心

【内容項目】

全学年共通 3—(1)・4—(3)

【資料名】

一年 私もいじめた一人なの

に

二年「命の重さ」

【資料名】

わかる授業

＝ 中学校の道徳 ＝

統一資料による

三年「卒業文集最後の二行」
本校では、一・二学期に「人権教育週間」を設け、その期間に集中して人権教育に取り組みます。その一つとして道徳でも「生命尊重」や「公平公正な心」を重点化します。二学期にはさらに内容を深めていきます。

実施することはもちろん、実施した感想や課題を教師同士がよく話し合うことが大切になってきます。自分が工夫した点などを教え合うこともお互いの授業力向上につながります。他の月も、その前後

三年「卒業文集最後の二行」
本校では、一・二学期に「人権教育週間」を設け、その期間に集中して人権教育に取り組みます。その一つとして道徳でも「生命尊重」や「公平公正な心」を重点化します。二学期にはさらに内容を深めていきます。

の行事や学期の特徴に応じて重点を決めていきます。そうすることにより、取り組みやすさも出てきます。

授業で心がけていること

① 事前アンケート等の実施

可能な限り、資料に関連した項目を入れた事前アンケートを実施しています。導入の段階で示すか終末にするかの違いはありますが、生徒にとってはクラスの実態がわかり、資料がより身近なものに感じられます。「公德心」の授業ではマナーに関するものを、

〈アンケートの例〉

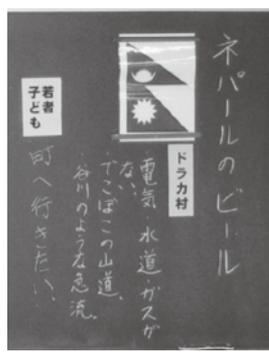
個性・長所に関するアンケート

自分に対して
元気、明るい、おもしろい
スポーツが得意
何事にも熱心、まじめ
友達に対して
おもしろい、接しやすい
優しい、思いやりがある
頭がいい、頼りがいがある

「生命の尊重」ではドナーカードに書く内容を、「個性の伸長」では友達と自分のよさに関するアンケートを行いました。

② ワークシートの提示の工夫
一時間の授業の中で、中心発問を含め、話題とした発問は三〜四問程度、導入から資料範読に入り、その後ワークシートを配布するのが一般的です。その際、発問内容をすべて載せないようにしています。その話題毎に(できれば短冊にして)示し、その都度集中して考えられるように(先回りしないように)心掛けています。

このように、基本的な取り組みばかりですが、今後も生徒の記憶に残り、少しでも実践意欲を高められる道徳の授業を目指していきたいと思えます。何より、教師自身がその資料に対して深く理解し、強い思いをもつことを念頭において……。



特別支援教育

「がんばったね」があふれるクラス

ふじみ野小学校教諭 松木 雅子

教諭 野本 美佳

「よくがんばったね。」「えらかったね。」と、たくさんのお賞讃の言葉をかけてもらい、八名の支援学級の子どもたちは、満面の笑顔で運動会を終えることができた。

今年、高学年の児童全員が組体操に参加。その不安は大きく、交流学級の子どもたちと同じようにやるのには、相当の準備が必要だった。

そこで、個別の練習を始め

た。壁に背中をつけて人間椅子を作り、歯を食いしばって耐えた。馬跳びができるようになるまで、跳び続けた。また、家庭でも肩車やサボテンの練習に取り組んでいた。続けていくうちに、子どもたちから「肩車をやりたい。」「練習しよう。」と言う声が出てきて、表情や態度は確実に変わっていった。

約一か月間、一緒に技の練

習に取り組んでくれた交流学級の子どもたちや先生は、同じクラスの一員として優しい心遣いをしてくれた。そして集団で行動することや運動が苦手だった四人が、努力していることを感じとってくれていた。運動会を終えた子どもたちから、「あきらめない」「練習すればきっとできる」という言葉を聞くことができ、本心にうれしかった。

今年も、たくさん「がんばったね」という言葉があふれるクラスにしていきたい。

③ 印象的な板書

これはだれもが心掛けていくことだと思えますが、全体の流れが一目でわかるようにしています。そのためには色遣いも重要になってきます。人物や出来事などは特に短冊等で強調します。写真、地図等視覚的に利用できるものもなるべく使うようにしています。

指導・講評

西中学校校長 石川 雅美

この実践により、本校では各学年全体で取り組むべき内容を明確にして指導することができるようになった。学年同一歩調で取り組むことができるようになったということである。資料を共有することで、担任による指導の偏りをなくし、生徒に同じ視点で物事を考えさせることができた。また、学年内で道徳の時間以外でも教員同士の切磋琢磨する姿を見ることができた。豊かな心の育成をめざしていつて欲しい。

伝統ある体育祭

東中学校保護者 加藤 富美子

東中の体育祭の名物と言え
ば「組体操」と「ダンス」。
今ではほとんど行われていな
い演目を、とても楽しみに、
そしてちょつびり不安な気持
ちで待っていました。入学し
たばかりの息子が、身体の大
きな三年生と同じ演技ができ
るのか心配でした。

そして当日、まずは、男子
の「組体操」。圧巻だったの
は、上に乗った一人が伸身姿
勢で起きあがり倒れたり
する「騎立ち」でした。練習
と信頼がいつぱいまった、
すばらしい演技でした。

次に、女子の「ダンス」。
「荒城の月」の曲に合わせて、
扇子を持った一人一人がキビ
キビとしなやかに舞う、情感
豊かなものでした。

二つの演目に、胸が熱くな
りました。一生懸命演技して
いる生徒と、彼らを見守る先
生や欠席生徒の代わりを演じ
ている先生方との不思議な一
体感を感じました。

そして東中の体育祭にかか
せないのが、祖父母の方々の
存在です。生徒数が少ないの



ですが、祖父母席は他校の倍
以上の広さがあります。祖父
母の方々は、保護者の私たち
よりも早く来校し、すべての
競技を応援してくださいまし
た。平日開催ということもあ
り、保護者より多い参加でし
た。不景気の続く中、子ども
にかかわる時間が少なくなっ
ている保護者に代わり、祖父
母の方々が学校に関心を持っ
てくださることはとてもあり
がたいことです。

「組体操」「ダンス」「祖父
母の方々の応援」は、東中の
良き伝統です。短期間での準
備がとても大変だとお聞きし
ますが、祖父母の方々の楽し
みでもあり、ぜひ続けていっ
てほしいと思います。



色別遊び

鶴瀬小学校

本校では、月に三回程、授
業の前に「色別遊び」を取り
入れています。各クラスを赤、
黄、青の三色に分け、異年齢
グループを構成しています。

一番人気は「ドッジボール」。
高学年が下級生にボールを投
げさせてあげたり、優しくル
ールを教えてあげたりと大変
よく面倒をみており、全校児
童が生き生きと笑顔で遊んで
います。縦割り活動を通して
低学年の時から高学年の頼も

しい姿を自然と肌で感じるこ
とができます。この貴重な取
り組みを今後も鶴瀬小の財産
として大切に見守っていきたく
いと思います。

《子どもの感想》
・6年生になって初めての色
別遊びでは、すごくきん張
しました。でも、みんなが
仲良く遊んでいたのが安心
しました。よかったです。
・6年生のおにいちちゃんとお
ねえちゃんたちが、やさし

くあそびのルールをおしえてく
れてうれしかったです。



はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

何事も一度はやってみよう

つるせ台小学校保護者 佐々木 宣明

我が家には、三人の子ども
がいます。どの子も個性豊か
で将来が楽しみです。そんな
三人に、親として伝えていま
る事があります。それは「何事
も一度は、やってみよう」で
す。

今日の情報化社会の中では、
パソコンで検索すれば知れた
情報は数秒で手に入ります。
しかし、知っている事とやっ
た事があるのでは、大きな違
いがあると思うのです。やっ

た事が無い事に挑戦するのは、
人間にとつてとても大切な事
です。一步を踏み出すのはと
ても勇気が必要です。勇気を
持つて一步を踏み出し挑戦し
て成功した時の喜びはその子
の財産になりますし、挑戦し
て失敗した時は、反省して次
につなげれば良いのです。ま
た、失敗は成功よりも大きな
財産になります。私が小さい
頃からそうしてきたように、
子どもたちにも挑戦する大切



関小ファームでの収穫

6年生が、学校の畑でジャガイモを収穫しました。穫った後は、すぐ茹でて食べました。関小ファームでは、各学年がそれぞれの畑で野菜を育て、育てる大変さや収穫の喜びを体験を通して学んでいます。

関 沢 小

学校の様子を写真で伝える「学校TODAY」。「きんもくせい」発刊三十周年を迎え、少し模様替えをしました。三十周年記念の際に実施したアンケートに寄せられた「学校TODAYを楽しく見ているが、自分の子どもの学校がなかなか載らない」「もっとたくさん学校の様子を知りたい。」などの意見を参考に、今までの一回につき五校から、九校を取り上げるようにしました。市内の小・中・特別支援学校は十八校ですので、二回に一回の割合で掲載していきます。ただ、今まで一校二枚の写真でしたが、一校一枚となります。



東 中

ふれあい講演会へ夢をもって生きる〜

盲目のソプラノ歌手田中玲子さんを招いてふれあい講演会を行いました。失明というハンデに負けず、努力して夢を実現させた田中さんのお話や歌声が生徒の心に響く講演会となりました。



み ず ほ 台 小

楽しかった、みずほハッピーワールド！

6月24日、みずほ台小の毎年恒例の「みずほハッピーワールド」が行われました。今年のテーマは、スポーツ、科学、ミステリー。1年生から6年生の縦わりグループで、テーマに沿ったお店を出して、仲良く楽しみました。

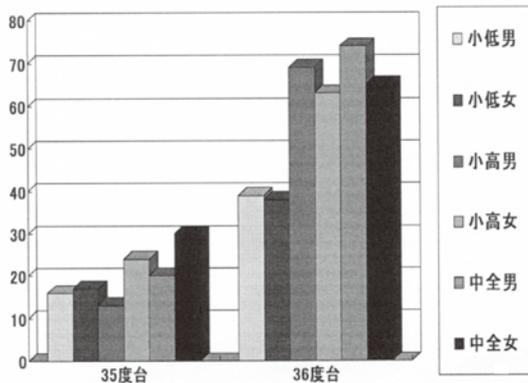


諏 訪 小

お手伝い逆上がり

本校は、6月17日に、埼玉県小学校体育授業研究会を行いました。2年3組は「お手伝い逆上がり」と「動物リレー」、4年3組は「セストポットボール」、5年3組は「ソフトバレーボール」の授業を公開しました。子どもたちは、県内の大勢の先生方が見守る中、元気いっぱいに運動を楽しみました。

本市児童生徒の平均体温



*左のグラフを参考にして下さい。

特に中学生女子では約三人に一人が、小学校高学年（四年生以上）女子では四人に一人が、三十五度台であり、留意する必要があります。

市教育相談室より
「親子意識調査」結果の報告

今回は、昨年六月に実施した「教育に関する親子意識調査」結果の中で、特に気になった点の中から、低体温について取り上げることにします。

一、低体温の子どもの割合が多い

本調査によると、本市全児童生徒の約二割が三十五度台であることが分かりました。



水谷東小

開かれた学校づくりを目指して☆音楽朝会☆

毎月1回の音楽朝会では、校歌や毎月の歌をうたう活動をしています。また、会の最後には、学年発表があり、保護者の方も自由に参観できます。子どもたちのさわやかな歌声と保護者の方の笑顔がとても印象的です。



勝瀬中

体育祭閉会式でのひとこま

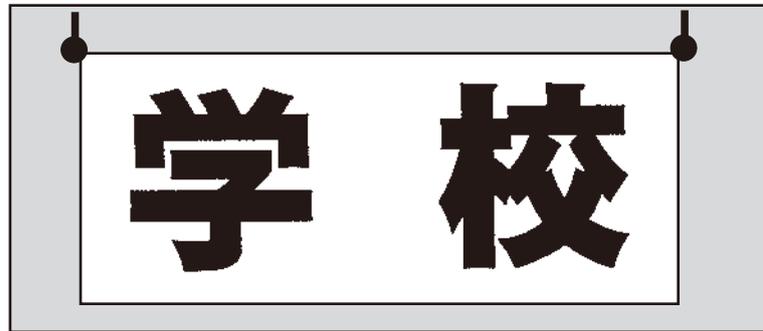
毎年体育祭では閉会式に体育委員長や色別団長の呼びかけで、自然発生的に全員へのエールや『全力校歌』が歌われます。本気で全競技を競い、応援した証ですばらしい声が聞けます。ちなみにこの後、整然と元の隊型に戻ります。



針ヶ谷小

針小まつり

たてわり活動の1つの大きな行事が6月に行われる針小まつりです。6〜7人のグループに分かれて、キックターゲット、迷路、おぼけやしき等のお店を出します。みんな楽しみにしていて、いろんな笑顔が見られます。



西中

土曜学習会

定期テスト前の土曜日に学習会を実施。教育実習生や近所の大学生にも協力して頂き、地域ぐるみで生徒たちの学習に対する意識を高めています。意欲的に取り組む生徒が多く、充実した学習会となりました。



勝瀬小

縦割り班で楽しく「遊ぶデー」!

勝瀬小では1〜6年生を縦割りにした班で遠足や遊び、奉仕活動などを行っています。月に1回の遊ぶデーは、6年生が中心となって、みんなで楽しく遊べるよう工夫しています。

二、低体温が心身に及ぼす影響

専門医によると、体温が低下すると血管が収縮して血液が体の隅々にまで行き届きにくくなり下記のような様々な影響が出るといわれています。

- ・肩こり
- ・頭痛
- ・腹痛
- ・生理痛
- ・めまい
- ・耳鳴り
- ・便秘
- ・下痢
- ・吐き気
- ・しびれ
- ・不眠
- ・不安
- ・消化不良
- ・イライラ等。

三、低体温を防ぐには

低体温を防ぐには以下のような取り組みが必要です。

- ・規則正しい生活をする。
- ・適度な運動を心掛ける。
- ・三食しっかりとる。
- ・好き嫌いをせずに、炭水化物、たん白質、野菜をバランスよくとる。
- ・水等をとる時は常温以上で飲む。
- ・入浴は、シャワーで済まらず、湯船に入る等。

四、まとめ

以上のように、低体温は子どもたちの心身に様々な影響を及ぼします。是非各ご家庭でもお子さんの体温に関心をお寄せいただき、低体温を防ぐ取り組みを行っていただきたいと思います。



教育委員会だより

おめでとう！全国・関東大会結果

○平成23年度全国大会出場者

《第38回 全日本中学校陸上競技選手権大会》

西中学校 陸上部

長谷 郁海 (3年)

800M 2分01秒20 (予選敗退)

《第41回 全日本中学校バレーボール選手権大会》

東中学校 バレーボール部 (男子)

決勝トーナメント進出

- 松井 大和 (3) 鈴木 寅靖 (2) 関根 進伍 (3)
- マルキナシム (2) 菅沢 史行 (3) 小山田周平 (3)
- 砂川 祐満 (2) 池田 大地 (2) 小檜山太一 (2)
- 野々村千尋 (3) 村越 亮介 (3) 長根 幹 (3)

○平成23年度関東大会出場者

《第46回 関東中学校バレーボール大会》

東中学校 バレーボール部 (男子) ベスト8

- 松井 大和 (3) 鈴木 寅靖 (2) 関根 進伍 (3)
- マルキナシム (2) 菅沢 史行 (3) 小山田周平 (3)
- 砂川 祐満 (2) 池田 大地 (2) 小檜山太一 (2)
- 野々村千尋 (3) 村越 亮介 (3) 長根 幹 (3)

《第39回 関東中学校卓球大会》

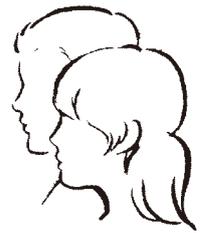
富士見台中学校 卓球部 (男子) 予選リーグ敗退

- 星野 光明 (3) 瀧内 有輝 (3) 泉 七星 (3)
- 松尾 輝 (3) 飛田和典宏 (3) 濱田 隆平 (3)
- 中西 海斗 (3) 田村 時夢 (3)

※ () 内は、学年

《お詫びと訂正》

5月号 (309号) の「家庭教育 親子で成長」を執筆いただいた、水谷中学校保護者 河村 明彦さんの「河」が誤った字になっていましたので、ここに訂正し、お詫びいたします。



まなみの

横顔

今年の一年生は二学級でスタートしました。新しい環境の中で様々なことに興味を持ち、毎日一生懸命活動している子どもたち——。生活科では、二パターンの

学校探検をふまえ、今年度は『サイン大作戦』を行いました。これは、サインカードを持って校内を回り、先生や上級生に自分から声をかけてサインをもらうという活動です。

「かかわりを大切に」

水谷小学校教諭

柴崎 典子



最初は先生が用意した「お助けメモ」を見ながら声をかけている子もいましたが、二日目からはチャイムと同時に教室を飛び出し、進んで声をかける姿が多く見られるよう

人とかかわることの楽しさを感じてくれたことがわかり、とても嬉しくなりました。水谷小では、全校遠足やわんぱくまつり、なかよしタイムなど、人とかかわりを大

になってきました。「〇〇先生からもらえたよ。」「校長先生がほめてくれた。」「たてわりの班長さんにもらったんだ。」活動の様子やふり返りから、

切にした活動が進められています。学級でも、授業の中に「お隣さんスピーチ」やグループ音読、ペア学習など、意図的に友達とかかわる場面を作るようにしています。子どもたちとかかわりの中で、私自身学ぶことも多々あります。これからも、かわり合う場面を大切にしながら、かわいい一年生と元気にすごしていきたいです。



編集日記

「頭をたれる稲穂かな」富士見市の東側の南畑・水谷東地区の田んぼには、金色に光る稲穂が風にゆれ、収穫の時期を迎えています。実りの秋子どもたちの成長も大きい時期です。

さて、県では子どもたちの学力向上を図るために様々な取り組みをしています。本市でも子どもたちの学力向上は重要課題です。各学校は、毎日の授業の充実や自校の課題を明確にした重点的な取り組みの実践をしています。また、各家庭と連携しながら「家庭学習」を習慣化することも向上への大きなポイントです。

そこで、家庭学習を充実するために、一週間の間にテレビやゲームをしない「ノーテレビ・ノーゲーム」の日を位置づけてはいかがでしょうか。学びの時間や場所を整え、子どもたちの頑張りを認める声かけをすることで一人一人のやる気を育て学力向上を図りたいものです。「きんもくせい」もリニューアルしました。子どもたちや市内の学校の様子ををご覧ください。ご意見等もお聞かせください。(忽滑谷)